

(10)

なつて、現れてゐる。彼等は、あらゆる機會に貸銀を引下げ、時限を延長し、労働條件を改善し、婦人少年の搾取を以て男子の労働に代へ、歐陽的な貸銀態度や、不當の雇傭契約によつて、搾取の増加を許つてゐる。然るに他方には、それは、資本家階級を、この動地から救ひ出さざる政府の政策となつて現れてゐる。即ち、政府は、對外的には、東洋諸國に對する大規模な帝國主義的政策をとり、その必然の結果として起るこの國際戰爭に對して、若々準備を行ひつゝある。而して、切迫せる此の國際戰爭は、たゞ労働者階級の體性によつての不行はれ、その全負擔は、一切労働者の頭上のみ投げかけられるものである。更に國內的には、政府は米價の維持によつて地主の利益を保護し、物價の昂上によつて實際賃銀の低下を許り、公債政策によつて、銀行會社を救ひ、幾萬の失業者を出した財政整理の如き重大政策をも、一偏の資本家階級の利益を助長する手段に供してゐる。之に反して、益々増大する失業の防止と救済のためには、嘗て何等の手段を講ぜず、之が實に労働賃銀の低下することを厭へてゐる。それと同時に、官憲は、陰險な手段によつて、労働運動者を或ひは恐嚇し、或ひは懲罰し、陰に陽に、組合運動發展の妨害に努めると共に、思想の指導と稱して反動主義の運動を助成し、あらゆる進歩的思想を壓迫して労働階級の奮闘を抑へてゐる。

斯くの如く、行詰つた資本主義の前途を打開せんにする一切の努力は、要するに労働階級の負擔によつて、資本家階級の破滅を救はんとする努力に歸着するものである。従つて資本主義が現在の危機から脱しやうとする必要

死の努力は、國際的にも、國內的にも労働に對する資本の攻勢となつて現れる。故に、この努力が増大すればするほど、資本と労働との利害の對立は、一層著大となる。

三 この現勢に即した組合運動の根本方針。方向轉換。其危險性。

資本の攻勢的態度は、日と共に露骨となるに拘りず、労働組合の現在の努力は、よく之に對抗して労働階級の利益を擁護するために、決して充分でない。現に労働者の賃銀は低下し、労働時間は延長され、組合運動が過去數年間の惡戰苦闘によつて獲得した勝利と陣地とは、漸次に擱弱され、幾十萬の同僚は生活の手段を奪はれて工場から吐き出され、生活は益々不安となり、資本に對する疎隔は日々に甚だしくなつてゐる。

(11)

大正七—九年の頃は、労働階級は一般に攻勢に立ち、その要求は比較的容易に實現することが出来た。この時以前には、我國の労働階級は殆ど無組織に近い状態であつた。そして斯やうな労働階級の無力な状態を維持して、資本と労働との間の勢力の均衡が保たれてゐた。然るに大正七八年に至つて、組合運動が急速に發展し、労働階級の方は急激に増大したために、この勢力の均衡は、労働者側に有利に打開され、従つて労働階級は一齊に攻勢を取り、資本家側を壓迫したのである。

然るに資本家側は漸次に陣容を整へ、經濟上、政治上、思想上の一切の勢力を動員して、必死の闘争を應戦し